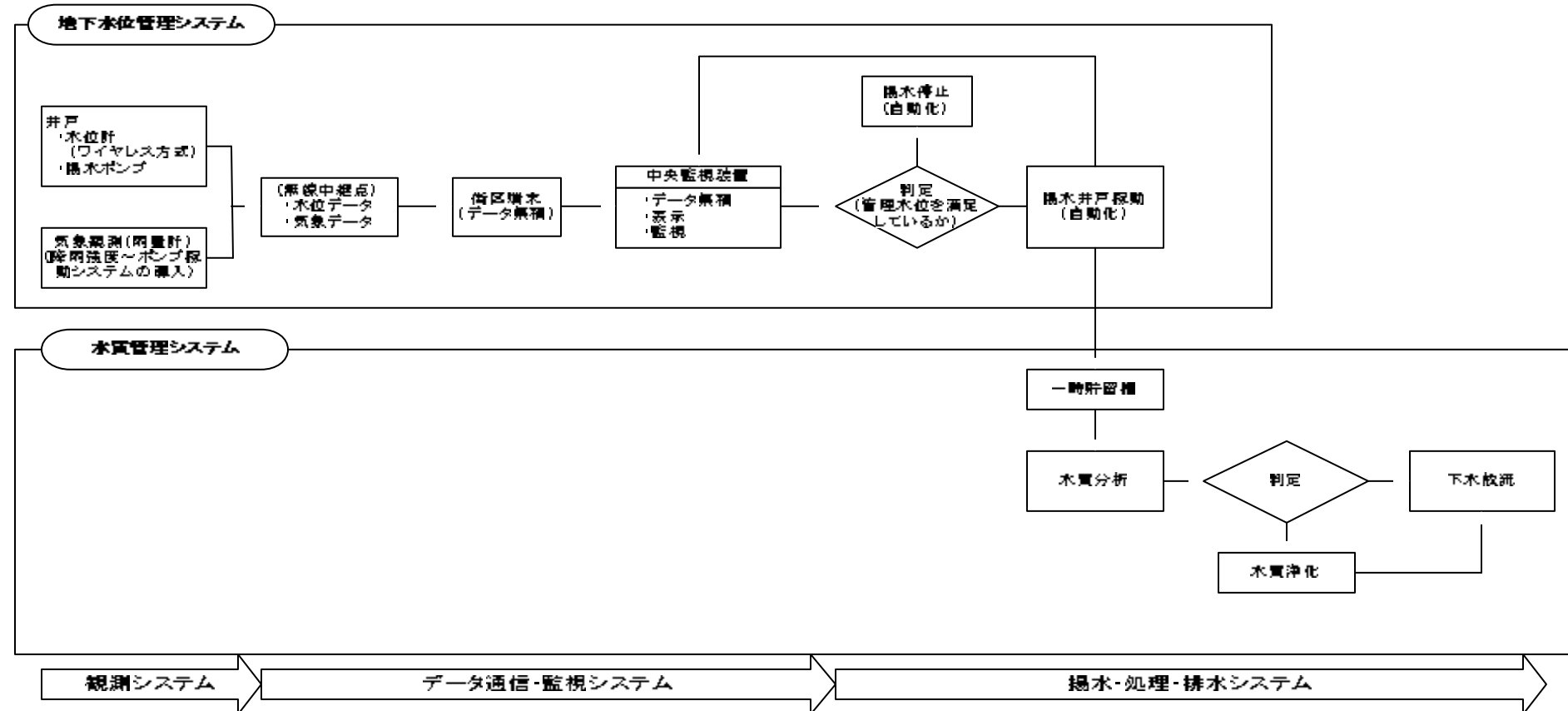
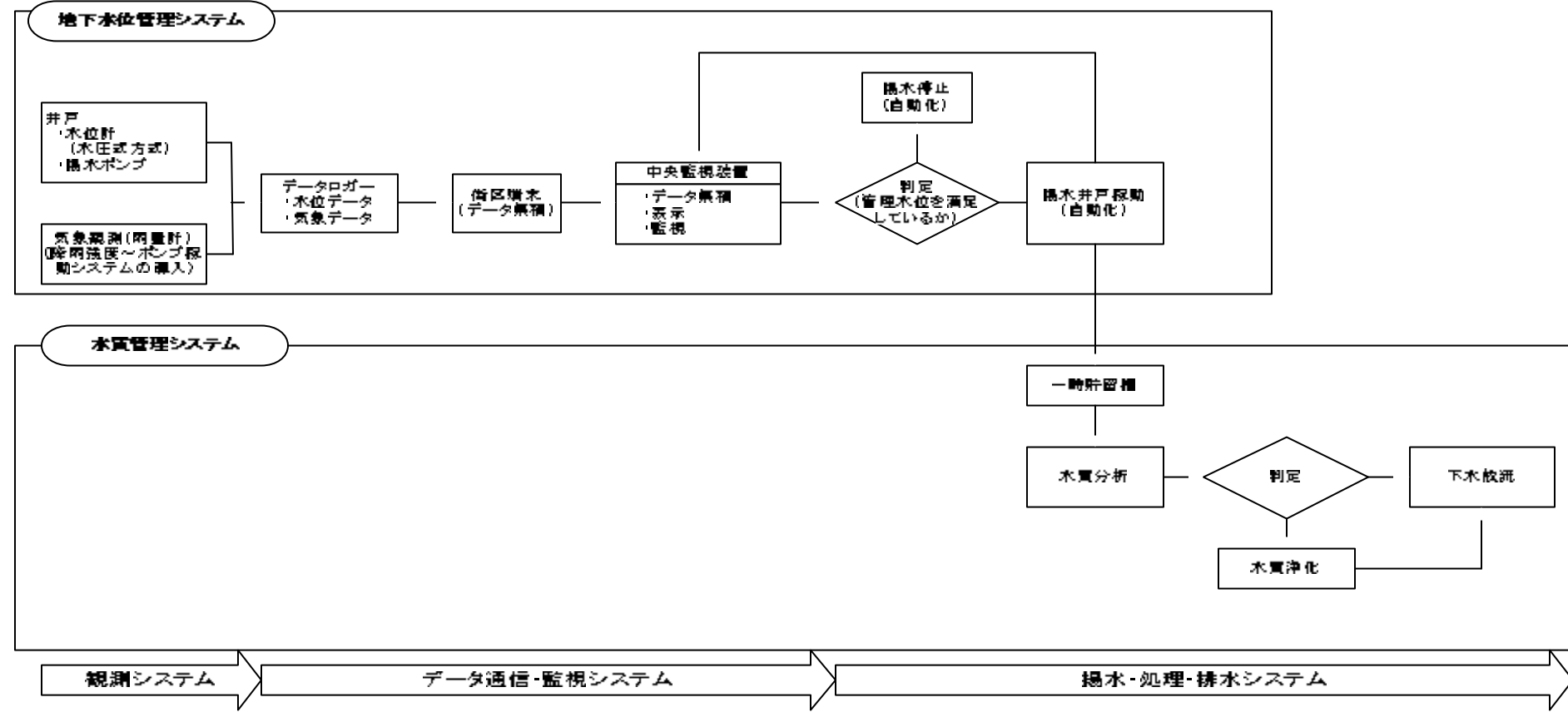


市場施設供用後の地下水管理システム

第7回技術会議で示した、市場施設供用後の地下水管理システムの2案について、以下の通り概要をまとめた。また、案1、2のフロー図を1-2頁、経費を1-3頁に示す。

地下水管理システムの概要	
案1 (有線方式)	<p>降雨強度センサーを用い、豪雨に対する地下水の上昇を予測する。</p> <p>地下水の水位観測は、圧力式水位計（有線）により行う。</p> <p>水位の観測データ等は、各街区ごとのデータ集積端末を介して中央司令室までを有線で転送する。</p> <p>水位監視システム～揚水井戸稼動は自動システムとする。</p> <p>揚水された地下水は、分析・処理・排水を行う。</p>
案2 (無線+有線方式)	<p>降雨強度センサーを用い、豪雨に対する地下水の上昇を予測する。</p> <p>地下水の水位観測は、圧力式水位計（無線）により行う。</p> <p>水位の観測データ等は、各街区ごとのデータ集積端末まで無線で転送し、中央監視装置までを有線で転送する。</p> <p>水位監視システム～揚水井戸稼動は自動システムとする。</p> <p>揚水された地下水は、分析・処理・排水を行う。</p>

【地下水管理フロー図】



【 経費（イニシャルコストとランニングコスト）】